

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

- I. 2022年3月期 第2四半期 決算概要
- II. 事業別の概況

2021年 11月16日



三井住友建設

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

I. 2022年3月期 第2四半期 決算概要

〔2021年11月9日公表〕

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

概要

上期

- 受注に関しては土木/建築ともに順調に進捗
- 国内で施工中の大型建築工事における工事採算の悪化に伴う損失(206億円)を計上

通期

- 業績予想を修正
 連結売上高 4,100億円(前回予想比△220億円)
 連結当期純利益 △90億円(前回予想比△190億円)

通期
業績予想修正の
主な理由

売上の減少

- 受注時期の遅れ等により、工事進捗が想定を下回る
- 海外における新型コロナウイルス感染拡大の影響

利益の減少

- 大型建築工事における採算悪化、一部工事における採算低下

今後の対応

- 大型工事に対する受注管理、現場管理体制の一層の強化
- 新たな中期経営計画を策定次第、公表を予定

02. 市場環境

02

上期の振り返り

市場

国内

- 公共:高水準で底堅く推移
- 民間:企業の設備投資が再開するなど、持ち直しの動きが見られた

海外

- コロナ禍により依然として厳しい状況が続いた

当社

国内

- 土木:大規模更新やトンネル工事など受注は順調に進捗
- 建築:物流施設、環境関連施設、住宅などの注力分野で受注量を確保

海外

- 出件時期の遅れもあり受注は前期を下回る

通期の見通し

市場

国内

- 公共:関連予算の執行により、底堅く推移していく見通し
- 民間:先行き不透明感が残るものの、持ち直しの動きが続くと期待

海外

- 徐々に持ち直しの動きが見込まれる

当社

国内

- 市場動向を注視しつつ、引き続き安定した受注量の確保を図る
- 競争環境、資材・燃料価格の動向等には十分な留意が必要

海外

- 各国の状況に留意しつつ、積極的に取り組む

- 売上高：個別における建築の売上減少が主因
- 営業利益：個別における建築総利益が大幅に悪化したため営業損失を計上

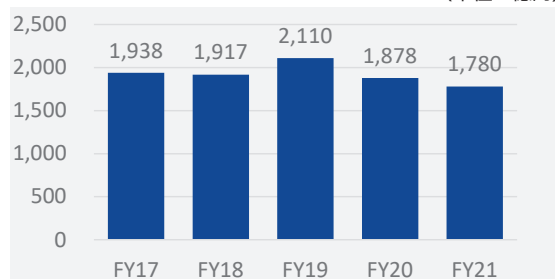
(単位：億円)

2Q実績	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	前期比増減
売上高	1,938	1,917	2,110	1,878	1,780	△98
売上総利益	232	228	228	183	△31	△214
一般管理費	95	103	106	106	121	+15
営業利益	137	125	122	77	△152	△229
営業利益率	7.1%	6.5%	5.8%	4.1%	△8.5%	△12.7pt
経常利益	134	125	120	64	△152	△216
当期純利益(※)	93	88	79	35	△110	△144

※親会社株主に帰属する当期純利益

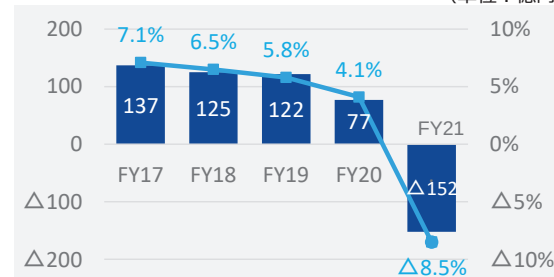
【連結売上高】

(単位：億円)



【連結営業利益】

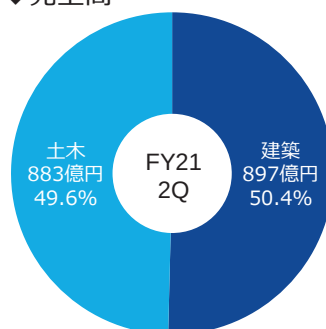
(単位：億円)



04. セグメント業績【連結】

- 土木：連結子会社(2社)の増加等により、売上/利益ともに前期比増加
- 建築：着工時期の遅れ等により売上高が減少、工事採算の悪化

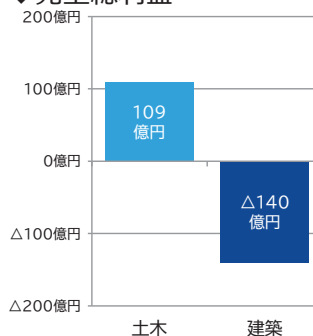
◆売上高



(単位：億円)

2Q実績	FY19	FY20	FY21
土木	761	782	883
建築	1,347	1,094	897
その他	6	5	4
調整額	△4	△3	△4
合計	2,110	1,878	1,780

◆売上総利益

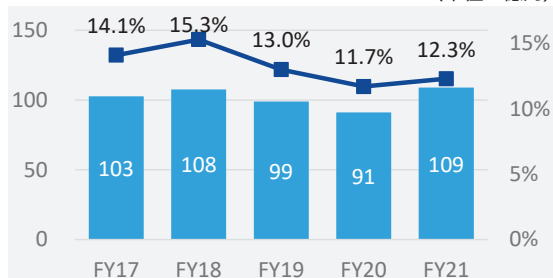


(単位：億円)

2Q実績	FY19	FY20	FY21
土木	99	91	109
建築	128	90	△140
その他	2	2	0
調整額	△0	△0	△0
合計	228	183	△31

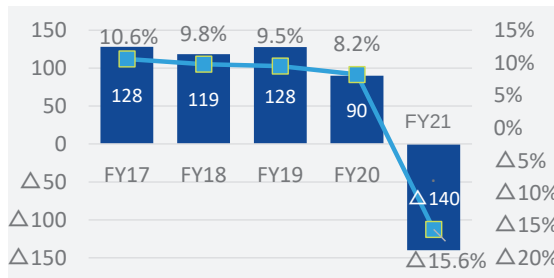
【土木：総利益・利益率】

(単位：億円)



【建築：総利益・利益率】

(単位：億円)

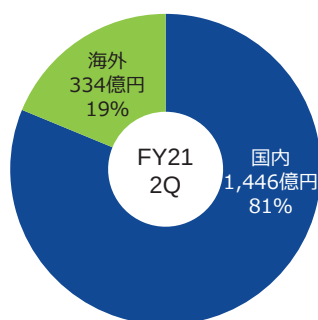


05. 国内・海外別業績【連結】

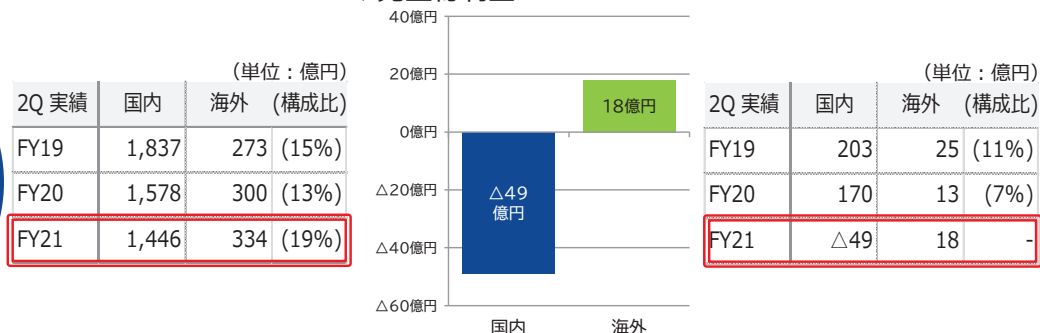
05

- 海外：大型土木工事が進捗し、売上/利益ともに前期比増加するも、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、期首の想定には届かず

◆売上高



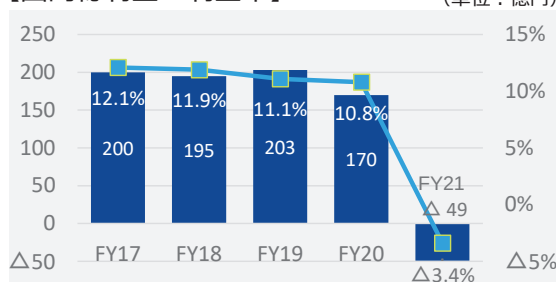
◆売上総利益



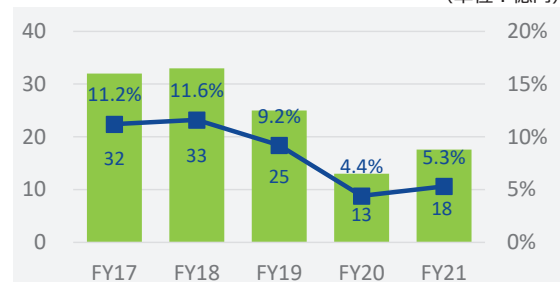
【国別売上高】

FY21-2Q	
フィリピン	125
バングラデシュ	62
ベトナム	34
インド	30
その他地域	83
海外合計	334

【国内総利益・利益率】



【海外総利益・利益率】



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

06. 建設受注高《個別》

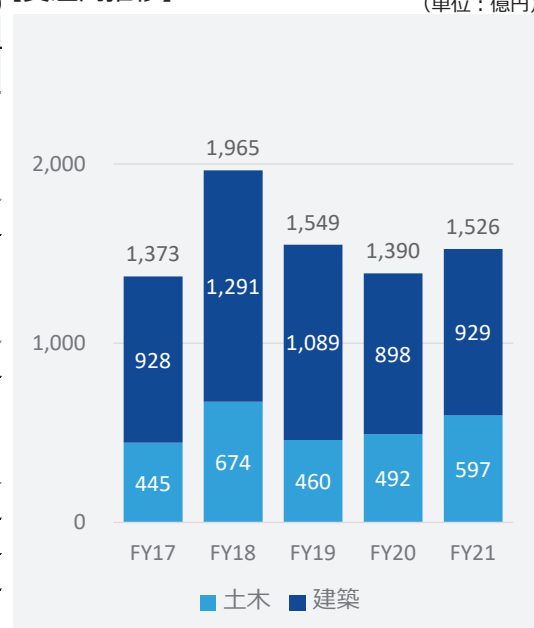
06

- 建設受注高：土木/建築ともに前期比増加
- 海外受注高：出件時期の遅れ等の影響により前期比減少

■受注高

	FY19	FY20	FY21	
	2Q実績	2Q実績	2Q実績	前期比増減
国内官公庁	189	276	449	173
国内民間	275	179	140	△39
海外	△4	37	8	△29
土木工事	460	492	597	105
国内官公庁	62	93	246	153
国内民間	1,020	783	673	△110
海外	7	22	10	△12
建築工事	1,089	898	929	31
国内官公庁	251	369	695	326
国内民間	1,295	962	813	△149
海外	3	59	18	△41
合計	1,549	1,390	1,526	136
海外(現地法人含む)	(219)	(126)	(89)	(△37)

【受注高推移】



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

07. 完成工事高《個別》

07

- 完成工事高：建築の大型工事の多くが施工の初期段階にあり前期比減少
- 繰越工事高：引続き高い水準で推移

■ 完成工事高

(単位：億円)

	FY19	FY20	FY21	前期比	
	2Q 実績	2Q 実績	2Q 実績	増減額	増減率
土木	572	596	617	+21	+3.5%
建築	1,078	890	736	△154	△17.3%
合計	1,650	1,486	1,353	△133	△9.0%

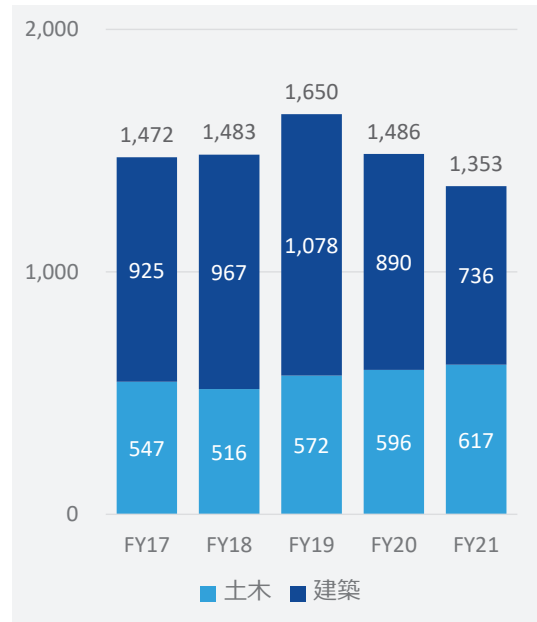
(参考) 繰越工事高の推移

(単位：億円)

	FY20	FY20	FY21	前期比
	9月 実績	3月 実績	9月 実績	増減額
土木	3,297	3,321	3,301	△20
建築	3,780	3,693	3,886	193
合計	7,077	7,014	7,187	173

【完成工事高推移】

(単位：億円)



08. 完成工事総利益《個別》

08

- 完成工事総利益：土木は前期比増加
建築は採算悪化に伴い損失計上

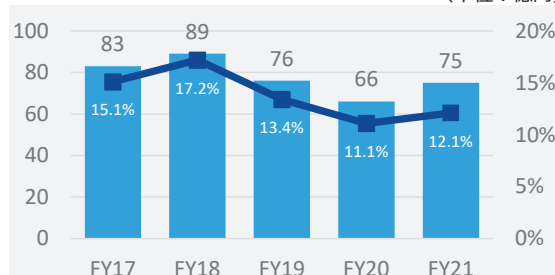
■ 完成工事総利益（総利益率）

(単位：億円)

	FY19	FY20	FY21	前期比	
	2Q 実績	2Q 実績	2Q 実績	増減額	増減率
土木	76 13.4%	66 11.1%	75 12.1%	+9	+1.0pt
建築	99 9.2%	74 8.3%	△151 △20.6%	△225	△28.9pt
合計	175 10.6%	140 10.6%	△76 △5.6%	△216	△16.2pt

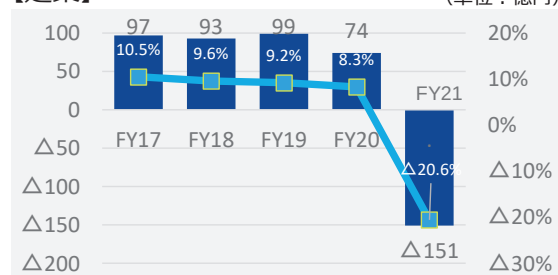
【土木】

(単位：億円)



【建築】

(単位：億円)



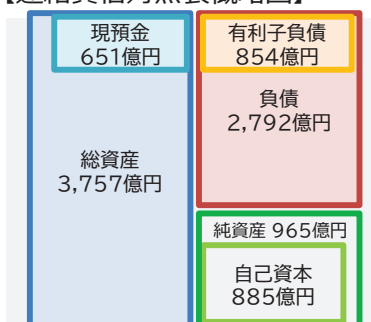
- 連結自己資本比率：損失計上に伴い低下
- 営業キャッシュフロー：仕入れ債務の減少によりマイナス

■ 連結財政状態

(単位：億円)

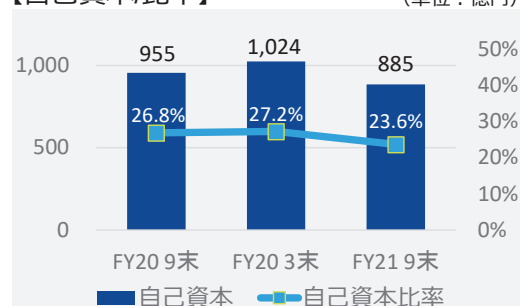
	FY20	FY20	FY21	
	9末実績	3末実績	9末実績	増減
資産合計	3,558	3,768	3,757	△11
(現預金)	(658)	(755)	(651)	(△104)
負債合計	2,535	2,665	2,792	127
(有利子負債)	(657)	(632)	(854)	(222)
純資産合計	1,023	1,103	965	△138
(自己資本)	(955)	(1,024)	(885)	(△139)
自己資本比率	26.8%	27.2%	23.6%	△3.6pt
営業C F	△81	167	△266	
投資C F	△11	△27	△21	
財務C F	219	97	187	
期末現金同等物	584	696	594	

【連結貸借対照表概略図】



【自己資本/比率】

(単位：億円)



10. 2022年3月期 通期業績予想【連結】

■ 2Q決算実績を踏まえ通期業績予想を修正

■ 連結業績予想

(単位：億円)

	FY20		FY21		【参考】	
	実績	前回予想(A)	修正予想(B)	増減(B-A)	上期	下期
売上高	4,216	4,320	4,100	△220	1,780	2,320
売上総利益	389	450	185	△265	△31	216
一般管理費	233	265	268	+3	121	147
営業利益	156	185	△83	△268	△152	69
営業利益率	3.7%	4.3%	△2.0%	-	△8.5%	3.0%
経常利益	131	160	△108	△268	△152	44
当期純利益(※)	87	100	△90	△190	△110	20

※親会社株主に帰属する当期純利益

10. 2022年3月期 通期業績予想【個別】

11

■ 2Q決算実績を踏まえ通期業績予想を修正

■ 個別業績予想

	FY20		FY21		増減(B-A)	(単位：億円)	
	実績	前回予想(A)	修正予想(B)			【参考】	
						上期	下期
受注高	3,164	3,600	3,600	0		1,526	2,074
売上高	3,222	3,082	2,982	△100		1,354	1,628
土木	132 (10.3%)	157 (13.1%)	157 (13.1%)	0		75 (12.1%)	82 (14.1%)
建築	133 (6.9%)	155 (8.2%)	△96 (△5.4%)	△251		△151 (△20.6%)	55 (5.3%)
その他	1	1	1	0		0	1
売上総利益	266 (8.3%)	313 (10.2%)	62 (2.1%)	△251		△76 (5.6%)	138 (8.5%)
営業利益	102 (3.2%)	128 (4.2%)	△123 (△4.1%)	△251		△158 (△11.7%)	35 (2.2%)
経常利益	94	113	△133	△246		△150	17
当期純利益(※)	76	80	△95	△175		△105	10

※親会社株主に帰属する当期純利益

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

11. 2022年3月期 配当予想

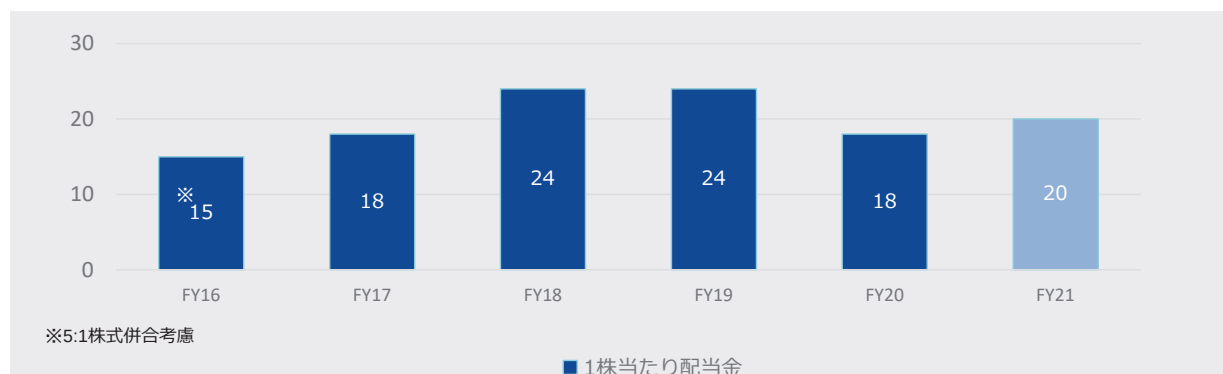
12

■ 1株当たり配当金予想は期首予想通り20円

配当実績・予想	年間配当金（円）			配当性向 (連結)	総還元性向 (連結)
	第2四半期末	期末	合計		
FY19	0.00	24.00	24.00	24.5%	30.8%
FY20	0.00	18.00	18.00	32.5%	43.8%
FY21	0.00	20.00	20.00	-	-

【一株当たり配当金の推移】

(単位：円)



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

Ⅱ. 事業別の概況

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

01. 土木事業

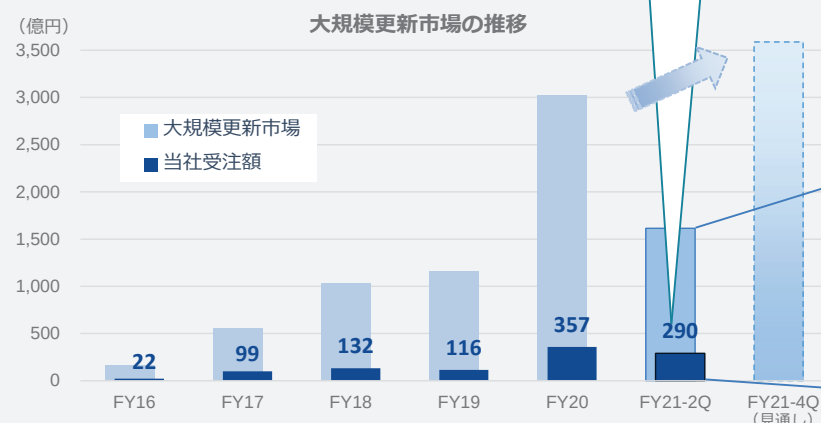
13

注力分野の成果：大規模更新事業

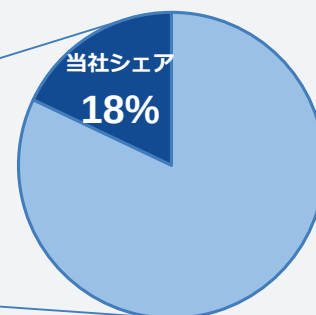
- ✓ 2021年度の市場規模：前期比2割増の見通し
- ✓ 当社シェア（上期実績）：18%

主な受注案件（大規模更新）

- 佐屋高架橋（下り線）床版取替工事
- 三尾橋（下り線）他5橋床版取替工事
- 富士IC～清水IC間床版取替工事
- 大井松田IC～御殿場IC（左ルート）間床版取替工事



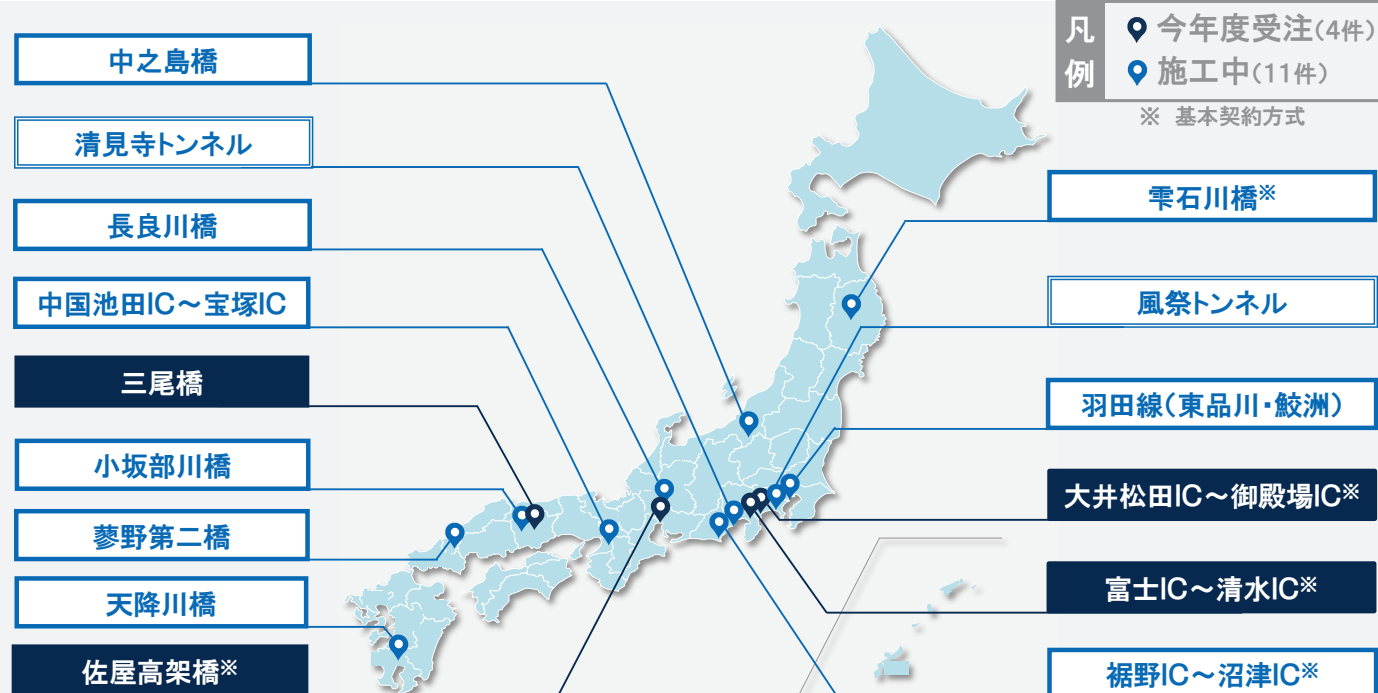
施工状況



(当社調べ)

注力分野の成果：大規模更新事業の展開

全国各地でインフラ老朽化へ対応



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

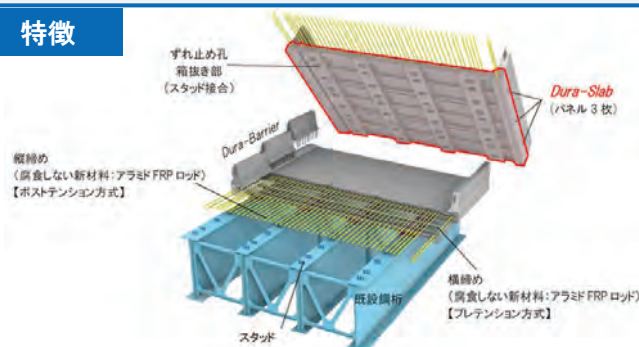
注力分野の成果：大規模更新事業におけるサステナビリティへの取り組み

✓ 超高耐久床版（Dura-Slab®）を高速道路本線橋に初採用

これまでの経緯

2010年
共同研究を開始2017年
Dura-Slab®の開発2021年
Dura-Slab®の実用化

特徴



《採用工事》

- 工事名：中国自動車道（特定更新等）
蓼野第二橋他3橋床版取替工事
- 発注者：西日本高速道路(株)様
- 工事概要：床版取替工、床版防水工ほか
- 工期：2019年11月～2022年8月

- ✓ 腐食劣化の可能性を排除（鉄筋、P C鋼材の代わりにアラミドFRPロッドを使用）
- ✓ ライフサイクルでのCO₂排出を低減（将来の補修・補強や更新工事を抑制）

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

注力分野の成果：国土強靱化

- ☑ 受注：トンネル工事（4件）を受注
- ☑ 施工：現場省力化に寄与する当社技術を積極的に展開

主な受注案件(トンネル)

すさみ串本道路 田並トンネル工事

- 発注者：国土交通省 近畿地方整備局
- 工事概要：工事延長534m（NATM工法）
- 工期：2021年8月～2023年8月

国道424号（仮称切目辻トンネル）
道路改良工事

- 発注者：和歌山県
- 工事概要：工事延長845m（NATM工法）
- 工期：2021年9月～2023年8月

施工における取り組み

デジタル化による遠隔業務の推進

遠検：遠隔検査の実施
デジタルサイネージ：
作業工程やwebカメラなど現場情報の共有
チャット等の双方向コミュニケーションが可能に

効率性と安全性の向上



「遠検」の活用

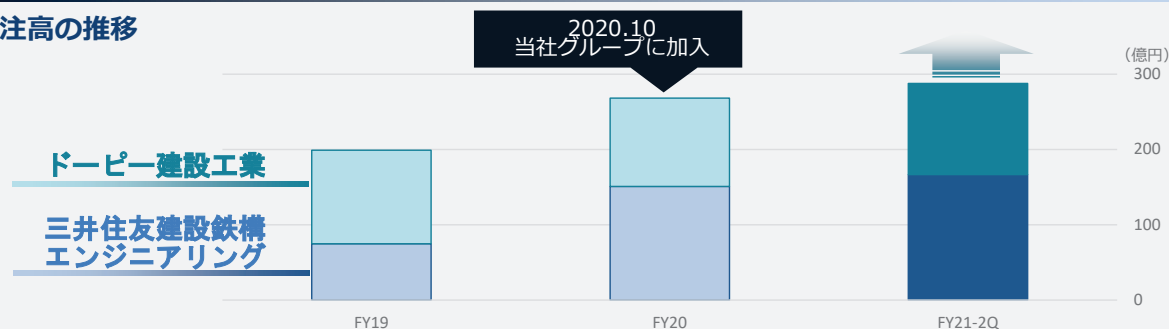


デジタルサイネージの活用

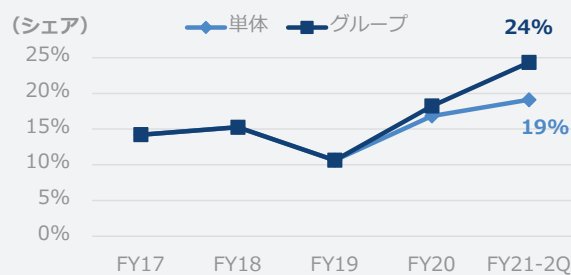
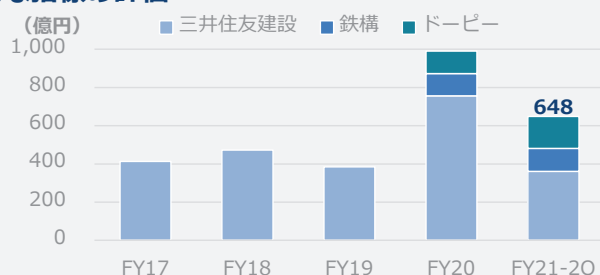
トピックス：橋梁事業の強化

- ☑ 2020年にグループ加入した鉄構、ドーピーともに受注高は前期を上回る
- ☑ 橋梁事業受注高は648億円、PC橋シェアは24%程度

受注高の推移



主要な指標の評価



(当社調べ)

橋梁事業 受注高

PC橋シェア

注力分野：物流施設

- ✓ 立地環境に応じた都市型物流施設の取組みや新規顧客の獲得なども進み、
着実に施工実績を積み上げ

DPL横浜戸塚

発注者：大和ハウス工業株式会社 様
構造：鉄骨造/R C造 地上4階
延床面積：約127,000㎡
工期：2020年10月～2022年3月

周辺環境（地域開放施設の整備、外観デザイン）と、
就労環境（託児所設置、全館空調設備等）に配慮した都市型物流施設



SANKEILOGI 柏の葉

発注者：株式会社サンケイビル 様
構造：鉄骨造 地上4階
延床面積：約11,000㎡
工期：2021年4月～2022年3月

サンケイビル初の単独事業となる物流施設



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

注力分野：医薬関連施設

- ✓ 医薬品製造施設をフルターンキーにて受注

岩城製薬佐倉工場株式会社 新注射剤ライン構築プロジェクト

- ✓ 発注者：岩城製薬佐倉工場株式会社 様
✓ 構造：鉄骨造 地上1階
✓ 工事内容：増築、改修
(既存内装、生産機器解体)

企画から稼働に至るまでを一括で請負う
医薬品製造施設フルターンキーサービス



※IOQ：薬品の製造や品質管理において製品や検査方法等が期待された結果を与えることを検証するステップで、製造機器等の据付時適格性確認（IQ）と稼働性能的確性試験（OQ）から成る

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

注力分野：超高层住宅

Brillia Tower 聖蹟桜ヶ丘 BLOOMING RESIDENCE



超高层ZEH-M Oriented

※ZEH-M Oriented:外皮断熱性の向上、高効率な設備や再エネ設備の導入によりマンション全体での一次エネルギー消費量を20%以上削減を目指したマンション

- ✓ 建築主：東京建物(株) 様、(株)東栄住宅 様
京王電鉄(株) 様、伊藤忠都市開発(株) 様
- ✓ 構造：鉄筋コンクリート造 地上33階
- ✓ 延床面積：約47,600㎡
- ✓ 総戸数：520戸

工事用電力としてグリーン電力を使用

(グリーン電力:太陽光や風力など「再生可能エネルギー」で作った電気)



今後の新規現場ではグリーン電力の導入を推進

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

注力分野 建築におけるサステナビリティへの取り組み

脱炭素社会の実現に向けて「サステナブルな建物づくり」に積極的に貢献

サステナブル建築への取り組み

エネルギー収支ネットゼロ住宅

- 当社社員寮に適用 -

- ✓ 自然を感じる省エネルギー技術
- ✓ 太陽光発電と蓄電池の最適な組合せ



サステナブル対策メニュー

- ✓ 設計～施工～運用までの対策メニューをラインアップ (全17メニュー)
- ✓ 顧客ニーズに沿った技術提案を積極的に展開中

【対策メニューの一例(設計)】



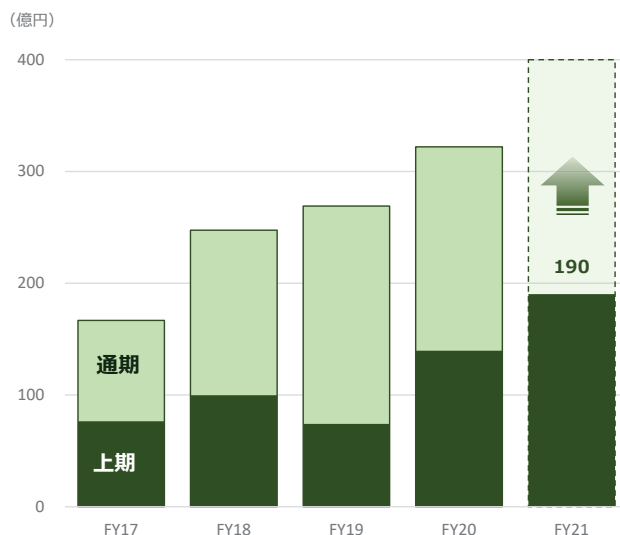
SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

海外土木

☑ 施工の進捗に伴い、売上高は増加傾向（上期 190 億円）

海外土木・連結売上高の推移



南北通勤鉄道事業（マロロス～ツツバン） パッケージ2

- 発注者：フィリピン共和国 運輸省
- 工事概要：高架橋 延長14km、高架駅舎 3駅
- 工期：2019年5月～2023年5月



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

海外土木

ジャカルタ高速鉄道建設工事（第2期）CP203工区

- 発注者：ジャカルタ高速鉄道株式会社 様
- 工事概要：工事延長1,336m
 - ・グロドック駅（駅長240m）
 - ・コタ駅（駅長406m）
 - ・シールドトンネル2本（延長677m）
- 工期：2021年9月～2026年12月（63ヶ月）

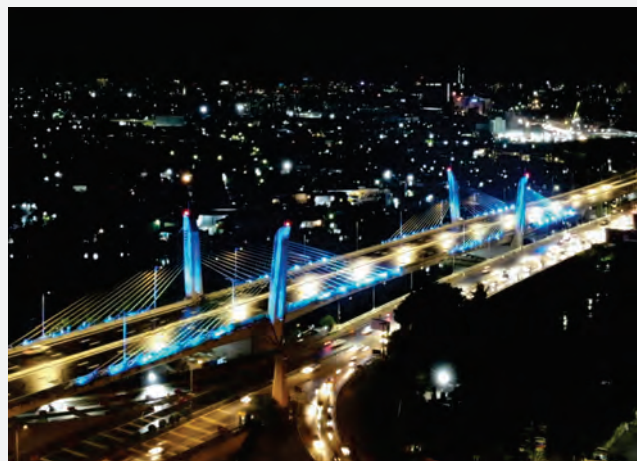


完成パース

9月に着工し順調に進捗

ケラニ河新橋建設事業 パッケージ2

- 発注者：スリランカ高等教育高速道路省 道路開発庁
- 工事概要：工事全長1,185m
エクストラードスド橋380m



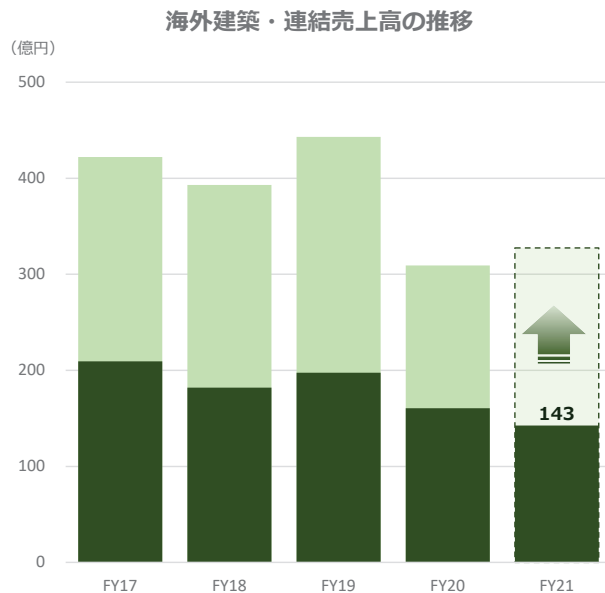
2021年11月18日開通予定

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

海外建築

☑ コロナ禍の影響を受け、
売上高は143億円に留まる



(仮称) DonDonDonki
Guam

- 発注者：PPRM GUAM社 様
- 施工場所：グアム
- 工事概要：ショッピングセンター



海外建築（プレキャスト技術の海外展開）

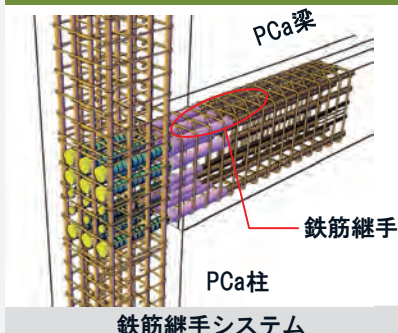
「SQRIM工法のプレキャスト部材接合部の鉄筋継手システム」
で国際規格評価認定を取得

※ DEXTRA社（タイ王国：バンコク都）と共同で取得

海外の耐震設計を必要とする地域におけるSQRIM工法の適用時に
設計者による機械式継手の性能保証が不要

SQRIM工法の海外での適用が容易に

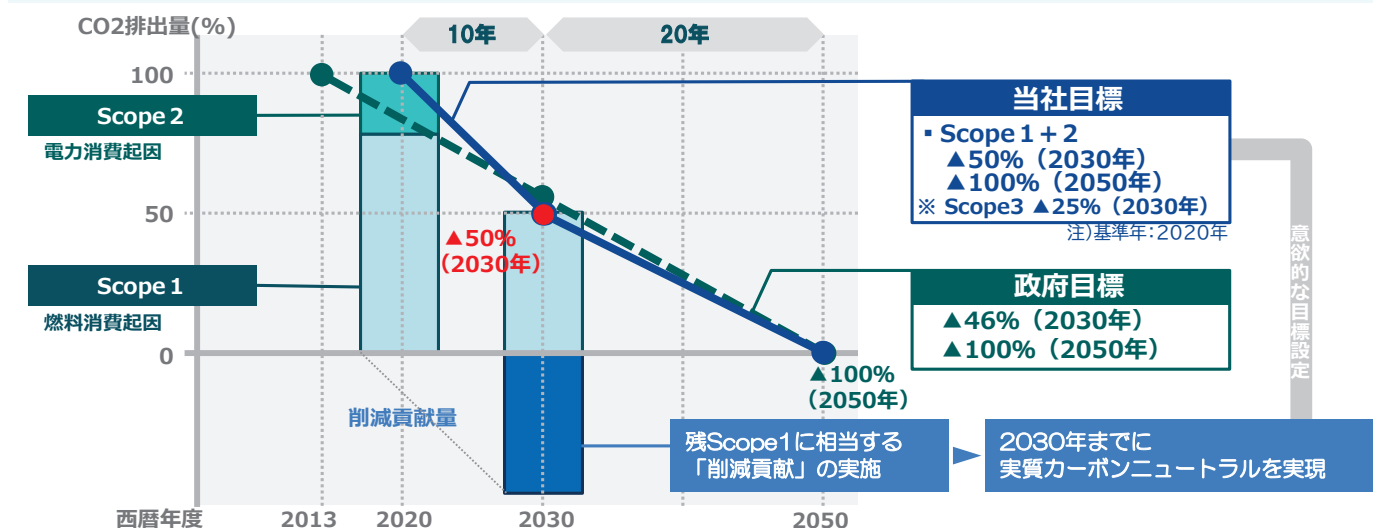
➢ 実案件での適用を検討中



モルタル充填剤
マスターフロー870スクライムグラウト

「2050年カーボンニュートラルに向けたロードマップにおける目標」の設定

1. スコープ1+2のCO₂排出量について、2050年までにカーボンニュートラルを実現する
2. スコープ1+2のCO₂排出量を2030年までに50%削減する(基準年は2020年とする)
3. スコープ1+2のCO₂排出量に相当する削減貢献の取り組みを実施し、2030年までに実質的にカーボンニュートラルを実現する
4. スコープ3のCO₂排出量について2030年までに25%削減する(基準年は2020年とする)



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

「人権方針」の策定

人権方針 人権の尊重をすべての事業活動の基本と考え、人権への取り組みを表明するもの

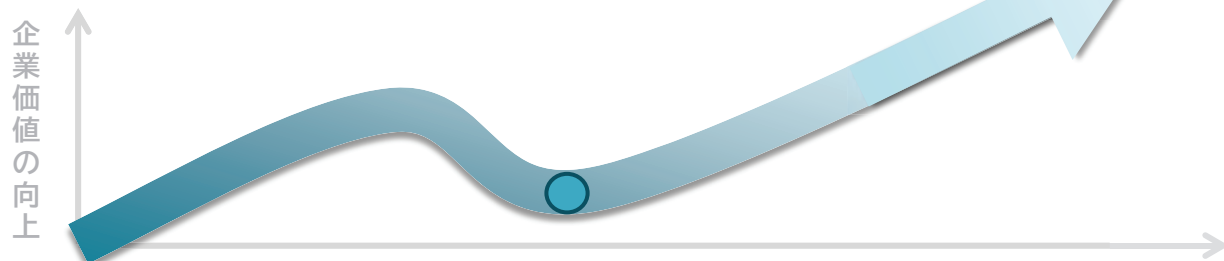
- ✓ 人権への負の影響を特定し、その予防・軽減を図る
- ✓ 実効的な苦情処理の仕組みを構築・運用する
- ✓ 継続的な人権教育を通して、人権尊重の企業風土を醸成する



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

2030年の将来像 新しい価値で「ひと」と「まち」をささえてつなぐ、 グローバル建設企業へ



三井住友建設グループ



グループ全体で「新しい価値」を世界に提供し、社会的な企業価値の向上を目指す

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2022年3月期 第2四半期 決算説明会



三井住友建設

お問い合わせ先

経営企画本部 企画部

Tel. 03-4582-3016 Fax. 03-4582-3205

本資料に掲載しております計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、本資料の発表日現在における当社の戦略、目標、前提または仮定に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の計画、予測または見通しなどと異なる結果となる可能性があります。